

## 平成29年度

河川名	地点	水素イオン濃度		生物化学的酸素要求量		浮遊物質			溶存酸素量				
		PH		BOD		SS			DO				
		月	年平均	月	年平均	月	年平均	月	年平均				
神田川	久保前橋 (C類型)	5	8.1	7.9	5	0.9	1.0	5	5.0	3.5	5	9.8	10.3
		9	7.6		9	0.8		9	3.0		9	8.7	
		11	7.8		11	1.2		11	3.0		11	10.2	
		1	8.0		1	1.2		1	3.0		1	12.6	
	高戸橋 (C類型)	5	7.0	6.9	5	1.7	1.4	5	1.0	1.0	5	7.5	8.3
		9	6.5		9	0.7		9	1.0		9	7.7	
		11	7.1		11	1.4		11	<1		11	9.0	
		1	7.1		1	1.7		1	1.0		1	8.8	
妙正寺川	四村橋 (B類型)	5	7.4	7.2	5	1.1	1.0	5	4.0	2.3	5	10.3	9.9
		9	6.7		9	0.8		9	1.0		9	9.5	
		11	7.3		11	1.0		11	1.0		11	8.9	
		1	7.5		1	0.9		1	3.0		1	11.0	

※計測値未満の数値については、計測の下限値を用いて平均値を計算しています。

### 各項目の解説

#### 水素イオン濃度 (PH)

水の酸性、アルカリ性を示す指標。0から14の間の数値で表現されています。PHの数値が7だと中性、7から小さくなるほど酸性が強くなり、7から大きくなるとアルカリ性が強いことを表しています。

環境基準 6.5～8.5

#### 生物化学的酸素要求量 (BOD)

微生物が水中の汚れ(有機物)を食べる(酸化分析)時に必要とされる酸素の量をもって表したものです。値が大きくなるほど河川が汚れているということを表しています。

環境基準 3mg/ℓ以下(B類型)5mg/ℓ以下(C類型)

#### 浮遊物質 (SS)

水中に浮遊している不溶性の物質。水の濁りの原因となる。光の透過を妨げ、河底に堆積すると河底の生物にも悪影響を及ぼします。

環境基準 25mg/ℓ以下(B類型)50mg/ℓ以下(C類型)

#### 溶存酸素量 (DO)

水中に溶解している酸素の量です。1気圧のもとで20度の清水には約9mg/lの酸素が溶け込みます。気圧、水温などによっても数値は変動します。また、日中、水中植物の光合成が行われるとDOは高くなります。

環境基準 5mg/ℓ以上